

平成 23 年 7 月 9 日

東京フォーラム

**中斎塾 東京フォーラム**  
**平成 23 年 第 6 回講話**

おはようございます。

お暑い中、大変ご苦労様でございます。

**今日の一冊**

最初に中村天風著「君に成功を贈る」と云う本を皆様に回します。

こちらの本は 10 年前に出ていますが、珍しく手頃な値段です。

それと、宇野千代さんが天風先生の事を作家としての眼で見えて書いている本があります。

文庫本で出ています。こちらの中身は良いものです。

**今日の論語**

今日の論語は早々に始めたいと思います。

立たなくて結構です。背筋を伸ばして下さい。論語の素読をする場合は、我ながら良い声が出たなという様な声をお願いします。

大きい声を出したり息を長く出すことは、あまり普段の生活でやっていませんから、普段と違う事をする癖をつけられると良いでしょう。

それから、下を向いていますと気持ちも内にこもってしまうので、前を向いて、若干目線を上にあげて下さい。消極的、積極的と云う言葉がありますけれど、目線を若干上にしますと、積極的に物事を考えたり、行動する事が出来ます。若干目線は上で遠くを見ると云う風にして戴くと良いでしょう。ちょっと声を出してみましようか。どれくらい続くか、そして健康であるかを確認してみましよう。では手を叩きますので、その合図で声を出して下さい。

良い声が出たなと思う方？

面白いもので、小さい声で言うと小さい声になりますし、少し元氣を出して言うと元氣になる。要はどう思うかです。どう思うかによって言葉の出し方も、声の元氣度も変わってくる。人様に対するメッセージの出した方によって人は動いたり、動かなかったりします。

論語の素読をする時には背筋を伸ばす、良い声を出す、目線を若干上にするという事を意識して、尚且つ論語の中で、この言葉は良いなと思うかどうか、見つかったら、その日は一日中よい。あとで意味は調べれば良いという事です。

【一】 子曰く、泰伯は其れ至徳と謂うべきのみ。三たび天下を以て譲る。民得て称すること無し。

泰伯は最高の徳の持ち主だ。泰伯は周国王の長男です。

たいがい長男は天子の位を譲るポジションにいるのだが、父親が3兄弟の一番下に位を譲ろうとしている事を察知したので、2番目の弟に「3番目の弟に位を譲れる様に我々が消えようではないか」と言って、消えた。

その消え方が誰にも何も言わず消えたので、国民は何故、泰伯がいなくなったのが分らない。

たびたびとは何度も何度もそういう事をして、天下を譲ろうとした。1回2回3回と考えるのではなく、1回2回たくさんという事です。

国民は分からなかったが、孔子は事跡を調べて見たら、父親に親孝行をし、それがこの国の為にも良い事だと云う事でそっと消えていた。

人様にとって良い事をする時は黙ってそっとやる事が良い。宣言して消えたら、親不孝者になる。孔子は、泰伯が最高の徳をもっていると言ったという事です。

後の話としては、位を譲られた3番目の息子は自分の息子に位を譲り、その子孫は殷の紂王を滅ぼして天下統一をしました。

泰伯が位を譲った事で、中国の天下統一を果たした子孫がすぐその後に出てきた。泰伯の眼力は素晴らしいと孔子は思っているととらえれば良いでしょう。

これを翻って現代の事象、内閣総理大臣で照らし合わせて見ると、菅さんは明確に総理を降りるのは嫌だと意思表示をして、でも周りは降ろそうとする。これは面白い仕組みです。

テレビで演説をしていた時に、やはり降りるのかと遠回しに云ったなと私も感じました。でもよく文脈を見ると、いついつまでに退陣しますとか、降りますとかは話してはいない。いつの事が分からないけれど、次の人は若い人が良いねと言っただけの事です。ああいうのは詭弁を弄すといえます。内閣総理大臣がやってはいけない事です。

だから、国民投票を国内に作ればよいと思う。

「其れ至徳と云うべきのみ。三たび天下を以て譲る。」という所をしっかりと読んで戴くと良いなと思います。

【二】 子曰く、恭しいわにして礼きょう無ければ、則れいなち勞すなわす。慎ろうにして礼しん無ければ、則れいなち惹すなわる。勇ゆうにして礼れいな無ければ、則すなわち乱らんす。直ちよくにして礼れいな無ければ、則すなわち絞こうす。君子くんし 親しんに篤あつければ、則すなわち民たみ 仁じんに興おこる。故こ 舊きゅう 遺わすれざれば、則すなわち民たみ 偷うすからず。

自分自身と照らし合わせて自分自身の性格はどうかと考えて読まれると良いでしょう。

恭は非常に丁寧な人。丁寧なだけで、礼をわきまえない。状況判断をしないと自分も苦勞するし、周りにも疲労感を与えるだけです。

丁寧な事は非常に良い事だけれども、状況判断をして、丁寧の度合をはかると良いでしょう。

慎は控え目。控え目でくよくよ心配して委縮して縮こまったりする。人に指名をした時素直に「ハイ」と答えてくれるのは良いのですが、「いえ、私は…」と常に遠慮する人がいます。

勇気だけあって、礼が無ければ乱暴者と云われる。

率直（正直）なだけ、状況判断をただけで礼を通さなければ、ただ相手に対して辛辣なもの言いになります。

例えば、率直でズバズバものをいうタイプの人だと、腹の中にあるものをポンポン出していると思います。という事は相手に対して誹謗中傷や辛辣なもの言いをし、不快感を与える。周りからすると、あの人は正直者だけれども、正直にもスパイスを加えないとお付き合いできかねる。

料理にしても、新鮮な物を食べる時は良いのですが、ちょっと時間が経つとすぐ腐敗してくる。欧州では長持ちをさせる為、または美味しく食べさせる為にスパイスを色々と研究・発達したという風に、私は理解をしているのですが、全部当たっているとは思いませんが、当たっているところもありますかね。

人間関係も同じ事だと思います。正面切って率直に言うと大概、喧嘩になります。やっぱり正直にものをいう場合はスパイスをつけた方が良いなと感じます。

ただ、菅さんはスパイスだらけだから、お刺身には醤油をつけなさいとアドバイスがあったらつけますし、いやこれはソースが良いと言われたら、ソースをつけるし、でもこの頃はマヨネーズも良いと言われれば、醤油がのってソースがのってマヨネーズがのって、それでお刺身を食べているような政治を今しているなと思います。

君子は人情に厚い。君子が不人情で無ければ、国民は徳という仁に目覚めてくる。

昔の友人の事を思い出して、今も時々便りをし、連絡を取り合う。そうすると、国民は薄情にはなっていないと云う風にとらえれば良い。

【三】 曾子 疾有り。門弟子を召して曰く、予が足を啓け。予が手を啓け。詩に云う、  
戦戦兢兢として、深淵に臨むが如く、薄氷を履むが如しと。而今にして後、吾免  
ることを知るかな、小子と。

曾子が病気になった時にこう言った。「両親から戴いた身体を一生懸命守ってきたし、傷つけないようにしてきた。布団をめくって私の足を見ておくれ、傷ついていないだろう、上の方の布団をめくって我が手も傷ついていないだろう」と。

おずおずとおそるおそる、薄氷を渡る様に自分の身体を気をつけて、今まで保って来たが、もうこれであの世に行くから、今日からこのような心遣いはいらなくなったよとお弟子さん達に向かって呼びかけた。

このような科白を言える人は今いますでしょうか。あまり聞いた事がありません。親が子供を殺したり、子供が親を殺したりするのが当たり前の時代になってきています。これはアメリカの奥地にいる部族の酋長が誰に言ったのか...日本の女流作家に言った科白で、「子供が親を殺したり、親が子供を殺したりするような民族は滅びることになっている」と言われてショックを受けた話がありますが、日本は今民族として、滅びる方向に間違いなく入っているなという感じです。

自分の身体を慎重に扱って来て、亡くなる時にやっとうこういう心遣いをしないようになら、と云える人は、たいしたものだと思う。

今はいないと云う感じがします。

【四】 曾子 疾有り。孟敬子之を問う。曾子言いて曰く、鳥の將に死なんとするや、  
其の鳴くや哀し。人の將に死なんとするや、其の言うや善し。君子道に貴ぶ所の者三  
つ。容貌を動かして、斯に暴慢に遠ざかり、顔色を正しくして斯に信に近づき、辞氣

を出して、<sup>い</sup>斯に<sup>こ</sup>鄙倍に<sup>ひ</sup>遠ざ<sup>ばい</sup>かる。<sup>と</sup>籩豆<sup>とお</sup>の事<sup>へんとう</sup>は、<sup>こ</sup>則<sup>すなわ</sup>ち<sup>ゆうし</sup>有司存せりと。

曾子が病気で魯国の大夫がお見舞いをした。その時曾子が言うには、鳥が死のうとする時は、悲しそうに鳴く。

人も同じで、死ぬ寸前は善い話しをするものです。

天風先生曰く、殺そうとする時に、悲しそうに鳴く獣の肉は、食べてはいけない。殺そうとした時に声をあげる四足のものを食べてはいけないと云うのだから、今の人は、食べてはいけないものばかり食べている。

君子は、三つ注意した方が良い。

一つは顔つき、表情。

立ち居振る舞いをキチンとしていれば、暴力と侮りに遠ざかる事が出来る。

国会の質疑の時に、立ち居振る舞いや表情はテレビで大写しになりますから、そういうちょっとした動きが即座に見えてくる。侮り傲慢がよく分かってしまう。

この頃では、九州電力のヤラセメール。記者会見に出てきた社長は、ヤラセメールに対して追及され、出だしは「知っていようが、知ってまいが、これは全て社長の責任です」と言っている間は良かった。ところが、メモがスーッと入って来て、「私は知りませんでした」と言いだしてから、目つきがいやらしくなった。テレビは大写しにしますから...また同じような事をやっているなと感じました。

社長というのは、部下が何をやっているかを知らないのは当たり前で、部下が悪さをしたら、「全て私の責任です」というのが腹に納まっていないから、通り一遍の「全部社長の責任です」と言う。言っている間はサラリーマンでトコロテンの上に行っている限界だなと感じました。今はテレビで大写しにされると、すぐに出てしまうなと感じました。

私は若い頃、礼儀作法を教えて下さる人がいました。「君は幾ら暑くても上着を常に持ち歩きなさい、ネクタイも締めなさい、人様と名刺交換したら、すぐその日の内に礼状を書きなさい」と色々身だしなみや礼儀など細かい事を注意して下さった人は、もう亡くなられましたが、その話が結構身体の奥深くまで沁み込んでいます。

今、私の立場で考えますと、会社がとんでもない問題を起こして、ここにその会社の最高責任者がいるとなったら、マスメディアが押し寄せて来ます。いつ何時起きないとも限らない。そんな時にいくらクールビズでも話が出来るといふ心構え、身支度をしていないといけない。気楽な格好をして、眼はきょときょとしていたら、マスメディアに叩かれ

る。あんなひどい格好をしているから、この会社も酷いのだと言われる。必ずそうなる  
くる。

だから常に誰かが叩きに来るのだと想定して、常に上着は持っているし、着られるよう  
にしておく。若い頃に仕込まれたものが、形を変えて今に生きています。

着ているものや、眼の動かし方、言葉の使い方は、昔教わったなと改めて感じています。

顔つきが厳然としている事で、信頼される。

発言する時は語氣に注意して、身を処していけば、不合理、不様と云うものから遠ざか  
る事が出来る。

テレビを見ると、良くこんなニュースを流すものだと思うのが次から次へと出てくる  
ので、自分達には鄙倍ひびいから遠ざかるほうが良いだろう。言葉遣いも自分で良いと思ってい  
ても、他人からみると「えっ」と思う事がありますから、それは氣をつけて下さい。どう  
やって氣をつけるかは御一人御一人、人によって違います。

鑊へんとう豆というのは、祀りごとに使う供物を盛る器です。

今風に言えば、イベントで扱う器物を役人がいるから偉い人は扱わなくてよい。役人に  
命じて、役人にやって貰うのが良い。いちいち自分で手出しをしない。

福島原発の事は色々と担当大臣を置いたのだから、大臣にやってもらえば良い。大臣は  
官僚を使えば良い。政治主導で、何も回らなくなるような動きをしてはいけないと云う風  
にここは読むべきだと感じます。

【五】 曾子そうしいわ曰く、能を以て不能のう もつ ぶのう とに問い、多を以て寡た もつ か とに問い、有れども無きが若く、実あ なごとみ  
つれども虚むなしきが若く、犯せども校むくいず。昔者 吾が友 嘗て斯むかし わ とも かつに 従事ここ じゅうじせり。

豊かな才能を持っている人が、ちょっとしか才能のない人に質問をする、広い知識を持  
っている人が、ちょっとしか知識の無い人に質問をするとか、たくさん物を持っているけ  
ど、無い様に見せる。攻撃されても反撃しない。

謙虚、謙虚で人生を過ごしていた私の友人はもう今はいない、その友人は、顔淵、子貢、  
仲弓とかである。

ここは謙虚さを身につける事が重要だと云うのですが、なかなか謙虚というのは身につ  
かないものだなと感じます。

## 恒例の質問

昨日一日嘘をつかなかった日でしょうか？

そんなに難しい言葉では無いのですが、嘘をつかないと思っていると、嘘をつきかける時には、一瞬嘘が止まりますから...

昨日一日、良い日だったと思う人？

夜寝る時に今日一日、あまり良いイメージが湧いて来ないと、もう一回起き上がって、今日一日どうだったか、どこかで良い事がなかったか、良いのを見つけるまで時間が掛かります。でも、良い日だったなと思って、眠りにつくのと、今日嫌な日だったなと思って眠りにつくのでは、翌朝まるっきり違います。良い日と言う事で眠りにつくのが良い。

昨日一日、有難うと言ひ、有難うと言われたか？

やはりこちら辺が難しく、「有難う」というのは当たり前と言うけれど、自分の心の置きどころで変わって来ます。

時々実験をしてみると良いのですが、朝起きてから一日の間、<有難う>をランクで分けて見て、口先だけで言ったか、本当に有り難いと思って言ったのか、一日だけで良いので、メモってみると良い。本当に感謝の意味を込めて、人様から有難うと言われるのと、御店でご飯を食べて「有難うございました」と言われるのでは、<有難う>の重みが全然違う。

本当に「有難う」の科白で云える。こうなると良いなと思います。どうぞ確認して戴きたいと思います。

もうひとつ質問をしたいのですが、今日お話をした中村天風先生です。<自分の心に思った事は実現する>と明快に書いておられます。そういうものを頭に置いて、お聞きします。

これから先、寝たきりとかではなく、自分が健康で、頭も回るし、動くことも可能。百歳代まで私は大丈夫だと思っている方？

...5人おられますね。有難うございます。

次、90歳代は大丈夫だろうと思う方？

...結構おられますね。

80歳代はいますか？70歳代は大丈夫？

...有難うございます。

そこから先は聞かないようにします。

## 94歳という目安

私は94歳まで大丈夫だと思っています。

何故かという、私のお師匠さん達、木内信胤先生が94歳、石川梅次郎先生も94歳で亡くなっておられるのです。周りを見渡して、この先生は素晴らしいと思った方はどういう訳か、94歳という数字があります。

たまたま私の母親が94歳なので、94歳の坂を通り越して貰いたいと思っています。私の母が95、96歳となれば、それもまた一つの目安になります。

今のところの目安は94歳だと思っています。

## 今回のテーマ ~人生の棚おろし~

体力に翳りを感じた方、若い時に比べれば体力が落ちたなと思う人？

私は体力に翳りを感じたらば、人生の棚おろしをしなければいけないと思います。

人生の棚おろしをしないといけない時期は、体力に翳りを感じた時で、氣力ではありません。

その棚おろしをするのに、私は5つほどあります。

人様とのお付き合い。これを整理しています。

本や資料、写真、ファイルそういうたぐいのものの整理。9割がたは整理できるのではないのでしょうか。

前にも申し上げましたとおり、木内信胤先生は、私は94歳で死ぬと常々公言して亡くなられましたけれど、息子の孝さん曰く、「父親は94歳で亡くなると常々言っていたけれども、本当はまだまだ生きているつもりだったのではないのかと思う。何故なら、資料が整理されておらず、未整理のものが山のようにあった。学者の伊藤さんに預けて整理して貰っております」

資料の整理はなるべく自分が元氣な間にするのが良いでしょう。後に残された人が整理をするのは、大変ですから。

人生の棚おろしを意識した時には、ある程度、時間を取るとよいでしょう。

私は毎年夏休みを取っていますが、ある場所にこもり色んな事を1年分考えて、本を読んで、本を書いて緑に囲まれていたいなと考え、余裕の時間を満喫したいなと思います。

自分で自分にかなりの休みをとり、自分自身にご褒美をあげる準備が必要です。



体力に翳りを感じたら、その様なレクリレーションが必要だと思っています。

体力に翳りを感じると生活習慣を変えざるを得なくなって来ます。

例えば、私は以前、凄い量の荷物を持ち歩いていましたが、外国に行く時も同じで、ギューギュー詰めしたケースが重くて高い所に置けなくて、柔道の要領でエイヤと人を跳ねあげる様に荷物を跳ね上げ棚に載せていました。それくらいの重さの物を持ち歩いていたのです。今体力に翳りを感じてからは、小さい荷物に変わりました。

### 時事評論

今は日本人全体が自分の事を過信しているなと感じます。

別に政治屋・官僚も関係なく、全体が過信している。先ほどの九州電力の社長は、今まで人生もちあげられて、素晴らしいと云われる人生の中にいるのではないかという顔つきをしていると思ったが、ちょっと違う角度からつつかれると目が卑しくなる。これは腹の中に核になるものを持っていないから、人格を磨いていないから、ダメになるのだなと感じます。

電力制限なるものがあつたから、菅さんは 15%節電を大口の所に義務付けて、それがクリア出来なければ罰金 100 万円を取ると云います。時代錯誤も甚だしい。

<よくやるなと思うのはアメとムチ>

一般の家庭には 15%節電を要請して、節約・節電するという事を経済産業省に登録し、それが達成できればアメをたくさんあげます。アメをたくさん用意したみたいですね。

ですから、アメとムチで大口の需要客には 15%を義務付け、小口の需要者、一般家庭にはアメをたくさん用意した。

なりふり構わず、15%節電をする事というのは、やりすぎだなと思います。

一回どん底まで日本という国は、落ちないと変わらないと思う。小手先だけでは、どうにもならないだろうと思います。東電、九州電力、電力関係のもので感じるものです。

<生活保護>

生活保護の所帯が今回の被災地で、3月11日以降5月末頃に720世帯が生活保護を受けたという事です。思ったより少ないなと感じました。これからもっと増える事と思います。そうすると、生活保護を受けさせるためにお金がドンドン流失しますから、生活保護の基準が厳しくなるし、今受けている人もカットされることも十分考えられる。ちゃんと生活保護をやりだしているのなら、最後までキチンとやらないといけないと思います。

<今氣になっている事>

日本の国の中で、あっても良いのではと思うものは国民投票。内閣総理大臣の選び方と云うのはどうしてもオカシイ。与党の中でトライ回しをする。だったら、国民投票で一人の総理大臣を選ぶという動きを進める必要がある。

二つ目は、東日本大震災級のものの直撃があるだろうと思います。または、新型インフルエンザの強毒性ウィルスが起きるだろうとも感じます。

自然災害が起きる。そうなった時には籠城しなくてはいけない。籠城する為には、備蓄は1カ月分が必要でしょう。

<国民運動>として、1ヶ月分の備蓄が必要である。そう決めて、実行する事。この段階であちこち回っていると、備蓄は必要ですという声を聞きますが、だけど、いざ開けて見ると消費期限切れでしたというのが結構ありました。

<新鮮な驚きを探す習慣>

あともう一つマンネリになりすぎているから、一日一日の生活の中で、新鮮な驚きを感じる様なものを探す習慣を身に付けると良いと思う。

そうするとオヤッと思って動けるようになります。

最近変わっているようだなと感じるものが2つ。

若い女性が綺麗になった事。何で綺麗になったのかなと思うのは、お日様があたると顔がツヤツヤしていて顔全体が明るくて、言い方を変えるとテカテカしている。先ほど聞きましたら、お化粧をする時の素材でテカテカするものが入っているとわれ、私の心構えが良くなって、女性がみんな綺麗に見えてき、私の心が変わったのかと思ったら、何の事はない、お化粧の仕方が変わったから。これが新鮮な驚きのひとつ。

あと、新聞。何でこんなに広告が増えたのだろう。特に日経。

日々のマンネリの中で、オヤッと思う事が幾つも見つける努力をすると良いでしょう。

そうすると、必ず行動に移って来る。そう考えております。

時事評論なかなか思うようにいきませんでした、今日はこら辺で...

ただ、世界に緊張感がだいぶ走って来ているのを感じています。

日本は領土問題でだいぶ攻撃されています。

後は海賊問題。海賊対策で、南アフリカで拠点を作って、180人の自衛隊の隊員がそこで

起居できるようなものを作った。

世界が段々ピリピリしだして、日本もその渦の中に否応なく引き込まれて、巻き込まれているのを感じています。